



2020年2月25日

各 位

会 社 名 株式会社シー・ヴィ・エス・ベイエリア
 代表者名 代表取締役社長 上山 富彦
 (コード番号 2687 東証第1部)
 問合せ先 経理・経営戦略グループマネージャー 牧 健太郎
 (TEL : 043 - 296 - 6621)

2020年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、2019年4月10日に公表いたしました2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)の業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2020年2月期通期連結業績予想数値の修正(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月10日公表)	百万円 10,750	百万円 150	百万円 165	百万円 55	円 銭 11.14
今回発表予想(B)	10,400	0	165	未定	未定
増 減 額 (B-A)	△350	△150	-	-	
増 減 率 (%)	△3.3	-	-	-	
(参考) 前期実績	10,916	31	△28	3,801	770.04

(2) 2020年2月期通期個別業績予想数値の修正(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月10日公表)	百万円 3,850	百万円 54	百万円 92	百万円 33	円 銭 6.69
今回発表予想(B)	3,800	0	80	未定	未定
増 減 額 (B-A)	△50	△54	△12	-	
増 減 率 (%)	△1.3	-	△13.0	-	
(参考) 前期実績	4,060	△100	△101	3,794	768.79

(3) 業績予想修正の理由

個別業績において、一部のユニット型ホテル施設が、働き方改革の浸透や韓国からの訪日外国人観光客数の減少を受け苦戦しておりましたが、コンビニエンス・ストア事業が、主力店舗近隣の大規模展示場で開催された各種イベントの来場者の増加もあり、既存店の売上高が堅調に推移したことで、12月までは、単体売上高、営業利益ともに概ね期首計画通りに推移しておりました。

しかしながら、1月下旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、日本を訪れる外国人旅行者が激減していることに加え、大規模イベントの自粛が発生するなど、国内旅行者の需要も大きく減少しており、ホテル各施設の稼働率及び客室単価は想定を大きく下回って推移していることから、売上高、営業利益の見通しの修正を行うものです。

なお、現時点では、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せず、3月以降もホテル事業の売上高が大きく減少することが見込まれることから、複数のユニット型ホテル施設において、減損の兆候を認識しておりますが、来期以降の業績見通しを再検討中であり、減損金額については今後大きく変わることが見込まれるため、親会社株主に帰属する当期純利益については未定とさせていただきます。

また、連結業績においても、個別業績に加え、第2四半期末時点において、マンションフロントサービス事業を運営する連結子会社において、業務効率化に向けたシステム投資関連費用が計画を上回っていることや、優秀な人材の確保のため待遇改善を先行して行ったことによる販管費の増加を受け、

利益が計画に対し未達となっておりますが、単体業績予想の修正と併せ見通しを変更いたします。

一方、経常利益につきましては、投資有価証券売却益を計上していることから、変更ありません。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、個別業績に記載の要因により未定とさせていただきます。

2. 期末配当金について

2020年2月期の期末配当につきましては、期首計画通り1株当たり10円の配当とする方針に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上